

ユニオンファンド 月次レポート

第 147 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2021年2月4日作成

MONTHLY TOPIC

コロナ後に起きた感情の変化に惑わされない

世界の株価は、新型コロナウイルス感染症による急落後に反騰し、その後もパンデミックが収まらない中でも上昇を続けてきました。ユニオンファンドの基準価額も上昇しており、昨年末 12 月 30 日にはおおよそ 3 年ぶりとなる最高値を付け、1 月に入ってからも引き続き上昇しました。この基準価額の上昇に伴って、昨年 11 月から売却をされるお客様が急増しています。一部ではなく全部を売却をされる方の割合が高く、年齢層、口座開設時期に関係なく行われており、これまでずっとつみたて投資を続けてこられた方が全売却されたケースも多く見られました。

約 3 年ほど横ばいだった基準価額が上抜けて、1 年ぶりあるいは 3 年ぶりに自己最高益になったり、つみたて投資を始めてまだ間もない方であれば開始以来評価損益がプラスマイナスを行ったり来たりしていたのが急激に利益が増えたこと等をきっかけに、“利益確定売り”をされているようです。売却をされた方の大半が利益を出しておられることはうれしい限りですが、私たちからすると「利益確定するなんてもったいない」というのが本音です。

資産を増やすために始めた投資で、“増やさない”を選んでしまう感情

「基準価額が上がったから、今が売り時」と思われたのかもしれませんが、この“売り時” “買い時”というタイミングを図って売買する投資をされる方はトータルでの利益を大きくできない傾向があります。タイミングを図る行為自体がギャンブル性を高めてしまうこと、さらにはせっかく作った“働くお金”が“働かない（増えない）お金”に戻ってしまうこと等がその理由です。改めて投資し直せば良いと思われるでしょうが、そこには「売った値段より安く買いたい」感情の呪縛が待ち受けています。「何故あの時売ったのか」と後悔したくないので、売値より下がるのを待ち続けて“働かないお金”のまま貴重な時間を捨てることになったり、買値にこだわりすぎてつみたて購入を選択できなくなることがよくあります。

投資は、いかに感情に左右されないようにするのが成否のポイントだと言われます。「定期定額購入」や「下がったら追加買い」というルールで“買い時”から感情を切り離すのは割と楽にできますが、目先の利益が直に見えて「減ら（損）したくない」感情が強く働く“売り時”から感情を切り離すのは非常に難しいものです。これを解決する方法としてお勧めしているのが、「お金が必要になった時に、必要な額だけ売る」ことです。今使う必要があるお金を現金化するだけですので、基準価額や評価損益を気にして売却時期を考えることは不要になります。金額も必要最小限と決めれば資産の減少は抑えられ、より多くの資金により長く働き続けてもらうことで更なる成長（上昇）を取り込むことができます。1 月 16 日、24 日に開催したリモート報告会の後半に、この売り方についてのお話をさせていただいたところ、参加された皆さんから予想以上の反応がありました。弊社 HP の「コラム」にその時の内容をもう少し詳しく掲載いたしますので、そちらもご覧いただければ幸いです。

赤津 正

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見直し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2021年1月末現在)

基準価額

28,019 円

純資産総額

87 億 62 百万円

期間別騰落率(%)

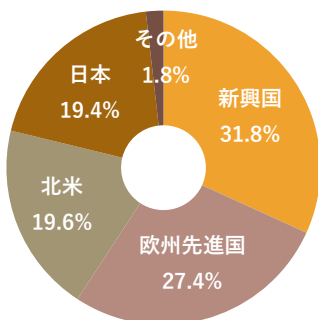
1 ヶ月	2.09%
1 年	12.12%
3 年	3.78%
5 年	45.82%
10 年	100.62%
設定来	180.19%

複利年率(%)

8.74%

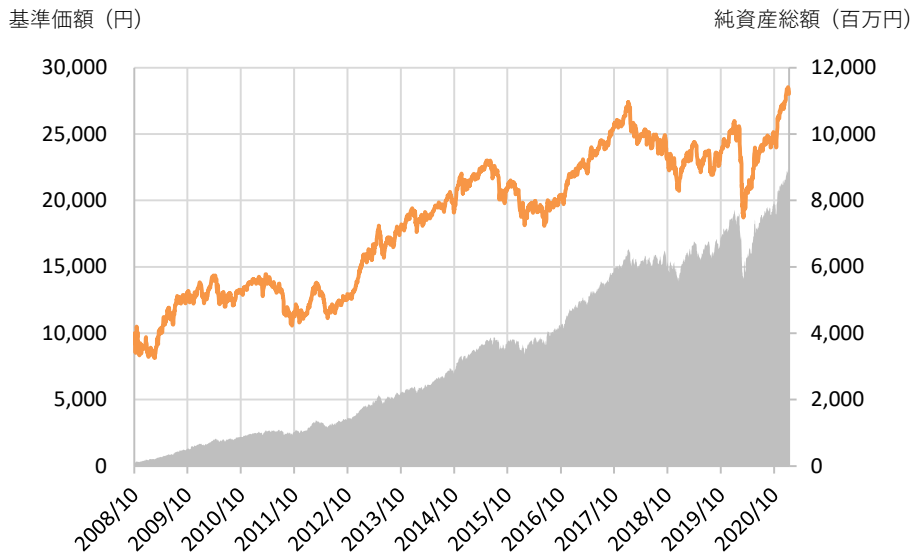
*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2020年12月末現在)

基準価額と純資産総額の推移



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	5.7%	2.2%
スパークス F	日本	11.3%	0.5%
キャピタル F	欧米	16.4%	1.2%
ハリス F	欧米	18.2%	0.6%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	9.7%	-0.8%
コムジェスト・エマージング F	新興国	28.2%	6.3%
現金等	-	10.5%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2021年1月の市場動向と運用状況

投資環境

2021年1月の新春相場は堅調に始まりました。米国では、大統領選の最後の手続きである選挙人投票の集計と結果認定を行う上下両院合同会議が開催されましたが、暴徒化したデモ隊の議事堂乱入で議事が一時ストップするという異常事態に発展しました。とはいえ、混乱を極めた今回の選挙もようやく決着し、就任式も、厳戒態勢の中ではありましたが無事終了し、新政権がスタートしました。バイデン大統領が掲げている政策は、総じて景気にプラスと評価されており、株価を支えました。

月末に市場は荒れ模様となりました。これは弱気な投資家（主にヘッジファンド）の空売りポジションを締め上げようという個人投資家による買い上がり、それに伴う混乱が市場全体を揺さぶったものです。

米国以外の市場では、新興国株の値上がりが特に目立ちました。大きなプラス要因はありませんでしたが、世界経済の回復見通しと金融緩和の継続、ドルの軟調などが追い風になったと見られます。

為替市場では、ここ数か月にわたって上昇傾向にあったユーロが若干反落しましたが、全般に大きな動きはなく、静かな状態が続きました。

運用の状況

基準価額は小幅に上昇しました。新興国市場の好調を受けたコムジェスト EM F の値上がりが寄与しました。

売買につきましては、やや大きめの上昇が続いた2つのファンドの一部を売却し、買いは見送りました。月末の組入比率は89.5%と、前月末から若干低下しました。

今後の見通し

1月末の株式市場の混乱は、投資家同士の競り合いが激化したことによるものであり、金融市場全般や景気にまで悪影響が広がるとは思えません。しばらくくすぶるかもしれませんが、いずれ落ち着くと予想しています。

ワクチンに関しては、製造の遅れなどから当初予定よりも接種が後ずれしていることが一部で懸念されています。変異種（変異株）が多くの地域に広がっていることも警戒要素でしょう。とはいえ、ワクチン接種は進んでいますし、都市封鎖などの効果で足元の新規感染者数は頭打ちから減少に向かいつつあるようです。

そもそも、米欧を中心とした金融緩和の継続と財政支出の拡大によって、経済と株式市場が支えられる可能性は依然として大きいと判断しています。さらに心強いのは、企業業績の回復が続いていることです。米国はもとより、ほぼ世界中で業績予想は上方修正気味です。

このように投資環境は概ね良好なため、投資家はどうしても強気に傾きがちです。昨年来の株価上昇によって割高感も強まっており、株価は乱高下しやすい状況と言えます。ただ、経済と企業業績のトレンドが右肩上がりであることから、仮に調整があったとしても一時的であろうと予想しています。短期的な反落の可能性に十分留意しつつ、長期的には上昇相場が続くとの見通しの下、基本的にはこれまで同様の運用スタンスを維持していく方針です。

運用責任者 久保田徹郎

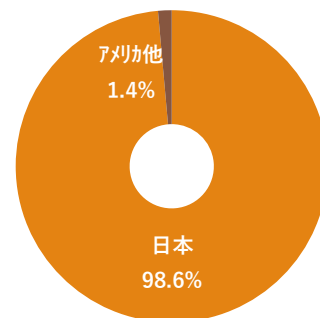
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



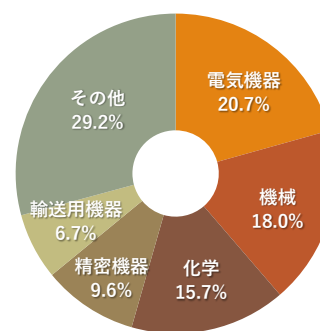
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	7.5%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 ダイキン工業	5.0%	日本	機械	エアコン世界首位
3 信越化学工業	4.4%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
4 浜松ホトニクス	3.9%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
5 テルモ	3.6%	日本	精密機器	医療機器 (カーテル)
6 花王	3.3%	日本	化学	トイレット紙首位
7 TOTO	3.3%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
8 プリヂェストン	3.3%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
9 三浦工業	2.5%	日本	機械	産業用小型ボイラー大手
10 トヨタ自動車	2.4%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
上位10銘柄	39.3%	現金等	6.1%	

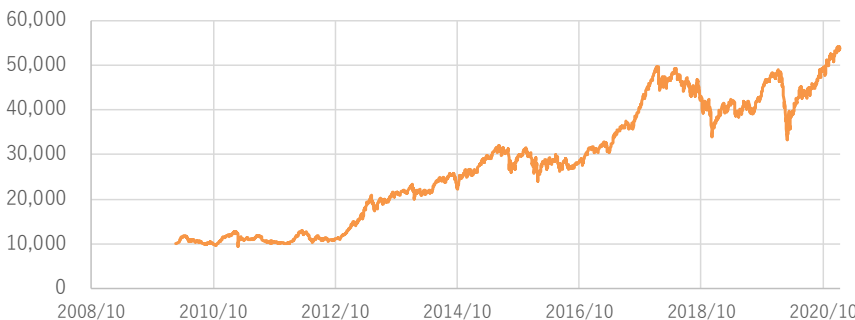
業種別構成比



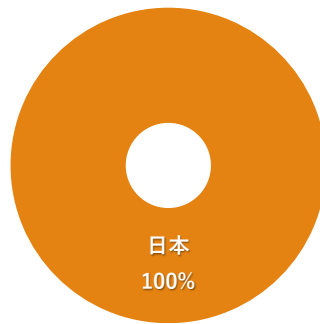
※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年1月末現在>

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



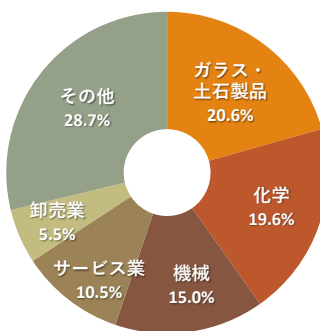
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケアHD		日本	卸売業	医療機器・設備
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
TOTO		日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
三浦工業		日本	機械	産業用小型ボイラー大手
ベイクレント・コンサルティング		日本	サービス業	総合コンサルティング会社
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
日本エム・ディ・エム		日本	精密機器	人工関節など医療機器・器具
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
エフビコ		日本	化学	食品トレなど容器の大手
現金等	6.3%			

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年12月末現在>

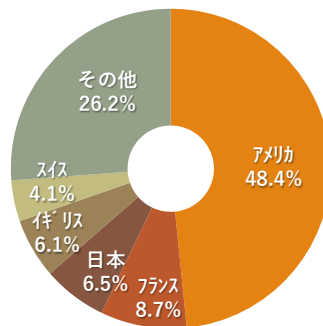
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



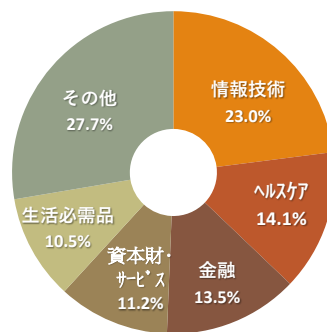
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC	2.9%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 ASML	2.3%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 Broadcom	2.1%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
4 AIA	1.9%	香港	金融	生保・金融サービス
5 Apple	1.8%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
6 Visa	1.7%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
7 Safran	1.5%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
8 AstraZeneca	1.5%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
9 Novo Nordisk	1.4%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
10 Microsoft	1.4%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピューター・ソフト
上位10銘柄	18.5%	現金等	6.0%	

業種別構成比



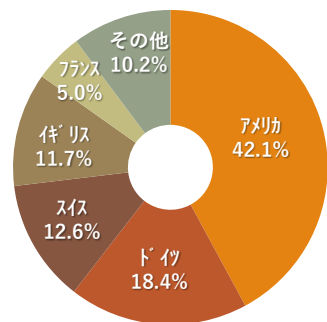
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年12月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリューストックファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



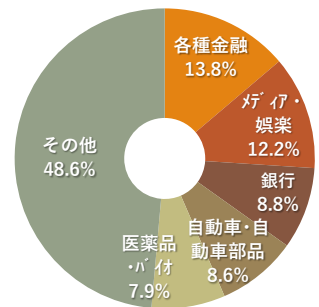
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 GLENCORE	5.4%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
2 CREDIT SUISSE	5.2%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
3 ALPHABET	5.0%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
4 BNP PARIBAS	4.9%	フランス	銀行	フランス大手銀行
5 DAIMLER	4.7%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
6 BAYER	4.5%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
7 CNH INDUSTRIAL	4.2%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
8 ALLIANZ	3.9%	ドイツ	保険	総合保険大手
9 BERKSHIRE HATHAWAY	3.6%	アメリカ	各種金融	保険事業を主軸とする持株会社
10 JULIUS BAER	3.1%	スイス	各種金融	プライベートバンク
上位10銘柄	44.5%	現金等	2.2%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年12月末現在>

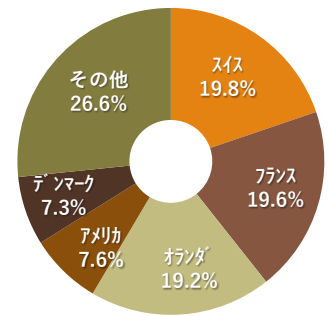
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



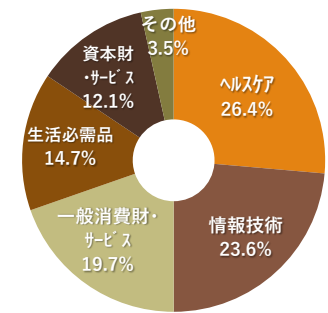
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML HD	7.3%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 ROCHE HD	5.8%	スイス	ヘルスケア	医薬品・診断薬
3 PROSUS	4.2%	オランダ	一般消費財・サービス	消費者向けインターネット
4 NOVO NORDISK	4.0%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
5 INDITEX	3.5%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
6 HEINEKEN	3.5%	オランダ	生活必需品	ビール生産世界大手
7 ACCENTURE	3.4%	アメリカ	情報技術	総合コンサルティング会社
8 LVMH	3.3%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
9 ESSILORLUXOTTICA	3.0%	フランス	一般消費財・サービス	光学製品
10 ICON	2.9%	アメリカ	ヘルスケア	医薬品開発受託
上位10銘柄	40.9%		現金等	3.9%

業種別構成比(マザーファンド)



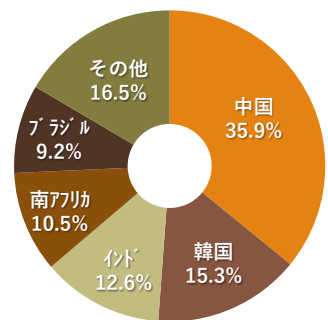
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年1月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



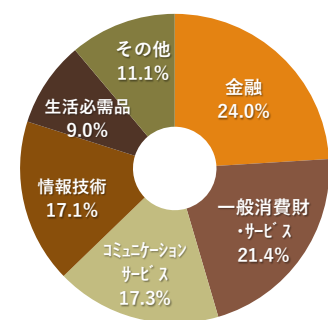
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 SAMSUNG ELECTRONICS	7.3%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
2 ALIBABA	6.5%	中国	一般消費財・サービス	電子商取引サイト
3 PING AN INSURANCE	5.9%	中国	金融	保険大手
4 TSMC ADR	5.2%	台湾	情報技術	半導体メーカー
5 NASPERS	5.1%	南アフリカ	一般消費財・サービス	ゲイム。中国TENCENTの大株主
6 HOUSING DEVELOP. FINANCE	4.9%	インド	金融	インド最大手の住宅開発金融会社
7 NETEASE	4.8%	中国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
8 NC SOFT	4.2%	韓国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
9 AUTOHOME ADR	3.5%	中国	コミュニケーションサービス	自動車情報サイト
10 MARUTI SUZUKI	3.5%	インド	一般消費財・サービス	スズキの子会社
上位10銘柄	51.0%		現金等	1.7%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年1月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

ご住所の変更をされるお客様へ

弊社ではお客様のご登録情報に変更がある場合、各種変更届をご提出いただいております。

ご転居等で現在の登録住所を変更される方は、弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）へのお電話または弊社ホームページの「取引口座関連（各種変更手続き）」>「登録情報変更用紙の請求」フォームで届出用紙をご請求ください。

お届け出にあたっては、**新住所が証明できるご本人確認書類※をあわせてご提出ください。**

※ご本人確認書類の詳細は、変更用紙をお送りする際のご案内に記載しております。

【ご注意ください】

- ・ 新住所をお届け出いただくまでの間、各種報告書等は旧住所への送付となります。そのためお客様の郵便事情によっては弊社からの郵便物が届かなくなる場合もございますので、変更のお手続きはお早めにお済ませください。
- ・ 法令の定めにより、新住所のお届け出がない場合、原則として、ファンドの解約代金等をお支払いすることができません。
- ・ 海外へ転勤・移住等される場合は、お客様によって手続方法が異なります。**必ず出国される前に弊社までお電話ください。**（出国後ではお手続きいただけないものもあります。）

お客様コード（口座番号）について

「お客様コード（口座番号）」とは、弊社に口座をお持ちのお客様がお取引等いただく際に、お客様を特定させていただくための番号です。

口座開設された際に弊社より郵便にてお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」にてご確認いただけます。

また、お取引の都度お送りいたします「取引報告書」（圧着ハガキ）のお開きいただいた左上にも「口座番号」として「お客様コード」を記載しておりますので、こちらでもご確認いただけます。

※ **各種報告書や月次レポート郵送時の宛名の下に印字されている記号や番号は、お客様コードではありません。**

※ 「お客様コード（口座番号）」がご不明な場合には、「お客さま控え」を再発行しお送りいたしますので、ご希望の際は弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）までご連絡ください。（メールやお電話ではお答えしていません。）

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。